



“make it new 未来につながる価値共創を”

株式会社 丸五

710-1101 岡山県倉敷市茶屋町1680-1
<http://www.marugo.ne.jp/> 086-428-0230

在籍する職種 営業 / 一般事務 / 企画設計 / 総務 / 製造

100年の歴史を支えてきたパイオニア精神。

丸五の歴史は、1917年当時・藤木伊太郎が、座敷足袋に人力車のタイヤを加工して縫い付け、屋外でも履ける「縫い付け式地下足袋」を考案したことにはじまります。1919年には法人化し、地下足袋づくりで培った技術やノウハウをもとに、現在では作業用靴・作業手袋、自動車部品等様々な商品を開発・製造し、グローバルに展開しています。

「靴づくりで難しいのは、靴上部と靴底部分の組み合わせであることです。靴は足にフィットしないとイケませんから、アパレルと靴底を作る両方のノウハウがなければ良い靴は作れません。また、靴は命に係わることもありますから、安全性では厳しい基準のもと検査に合格した商品だけがお客様の手元に渡るようになっていきます。」

のこぎり屋根が並ぶ倉敷の本社工場では、裸足感覚の足袋型シューズ「たびりら」など、「メイドイン倉敷」の革新的な商品が開発されています。2019年には初の足袋型シューズの旗艦店「マルゴ トウキョウ」を東京日本橋にオープンし、足袋の魅力を発信。

変化を恐れず新たなことに挑戦する丸五の企業姿勢は、創業100年の歴史の節目を迎えてもお、変わることはありません。



平面の素材から立体的の履物へと仕上げる「吊り込み」作業。機械化は難しく、どうしても人の手が必要な部分です。しわは靴底に隠し、表から見えない様に気を配ります。特につま先が二股に分かれた足袋の形に仕上げるためには、熟練の技、丁寧な手仕事求められます。現在日本では手作業で製造しているところは少ないのですが、丸五では本社工場でもこの作業を行い、日本でこの技能を途絶えさせぬよう、若い世代への技能継承に力を注いでいます。